

コリネバクテリウム(腋臭菌)に対するマルカサイドYP-DPの効果、ご提案

大阪化成株式会社

●Corynebacterium(コリネバクテリウム:腋臭菌)

腋臭・汗臭は、汗の成分が皮膚常在菌によって分解されることで発生し、腋臭の発生に
関与する菌としては**コリネバクテリウムキセロシス**、汗臭に関与する菌としては黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌などが知られています。そのため従来の制汗防臭剤には、イソプロピルメチルフェノールなどが殺菌成分として配合されています。



Corynebacterium



●マルカサイドYP-DPの コリネバクテリウム菌に対する効果を測定予定。

(YP-DP加工した繊維に対しての効力データ)

試験方法:JIS-L-1902法 食品分析センターにて試験実施。

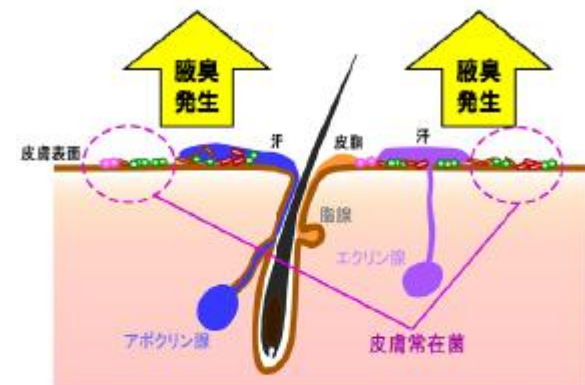


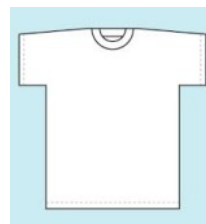
図 1. 腋臭の発生メカニズム

腋臭は細菌によって汗などに含まれる成分が分解されて発生します。



●ターゲット

肌着、スポーツ衣料等



コリネバクテリウム(腋臭菌)に対するマルカサイドYP-DPの抗菌効果

大阪化成株式会社

試験菌: コリネバクテリウム(腋臭菌)

検体: マルカサイドYP-DP 1%owf加工布(洗濯10回後)

素材: ポリエステルトロピカル(100%)

(加工条件: 1.4%sol 70%絞り 180°C1分乾燥)

試験方法: JIS L 1902 菌液吸収法

結果: 表-1に示した。

表1. 試験片中の生菌数測定結果

(試験片1個あたりの生菌数 N数=3)

	測定①	測定②	測定③	平均
接種直後	41,000	43,000	42,000	42,000
18時間後(対照)	350,000	370,000	300,000	340,000
18時間後(YP-DP加工布)	<20	<20	<20	<20

対照: 標準布(綿)

<20: 検出せず

菌液調整溶液: 1/20濃度のニュートリント培地

生菌数の測定法: 混釈平板培養法

